

■（８）先生だって忙しい！から教育面は日曜日

テレビ通販の裏側を伝える最近の民放番組で初めて知った。申し込みが最も集中するのは「水曜日」の夜。そこで頼めば、ちょうど自宅にいることが多い週末に商品が届くからという。売り込む方は「水曜日限定」の特売品を投入して、売り上げ増を狙うそうだ。

そんなマーケティングの手法にかつての新聞は無頓着だった。世の中は月曜朝から「さあ今週もがんばるぞ」なのに、連載記事は火曜朝刊スタートが多かった。これは新聞社の都合。記者が月曜に「さあ」と記事を出すので、読者に届くのは火曜朝になるからだった。

大きく変わったのは約１０年前。「書きたい記事より読みたい記事」と意識改革が求められた。じっくり読んでもらいたい記事は、比較的余裕のある土日に。連載も時には週末開始になった。そんな中に、小中高の話題を扱う教育面「学ぶ」「教える」（日曜）もある。

相当前まで「先生は夏、冬、春と長い休みがあっていいな」と思い込んでいた。だが、小学教諭の身内の暮らしを知ってびっくり！洋服も食料品も通販中心。先生も平日中心にかなり忙しい！教育面の曜日設定もマーケティング的には理にかなっているようです（山）